

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム

科目群	科目名	年次・単位	目的・履修要件
基盤科目 (A) プラットフォーム 共通科目 (5 単位)	多文化共生特論 1~5 ^d “Special Lecture on Multicultural Societies” (Cross-Cultural Talk)	M1~D3 各 1 単位 合計 5 単位	多文化共生の基盤となる異文化理解を深めるとともに、アジアに共通する課題を発掘する。各年必修。
基盤科目 (B) プラットフォーム 共通選択必修科目群 (6 単位)	社会心理学研究 III ^b , 日本の開発経験 ^a , 国際開発入門 ^a , 開発援助論 ^a , フィールドワーク入門 ^a , 開発協力論 ^a , 国際開発特殊講義 B (グローバルキャリア・ディベロップメント論) ^a , 社会医学 ^c , ヘルスケア管理論 ^c , 保健学セミナー ^c , 研究リテラシー ^d , 生命農学本論 (英語) ^d	M1~M2 各 2 単位以上 合計 6 単位	ウェルビーイング領域の研究の基盤となる幅広い開発リテラシーと学際的な視野を身につけ異文化への理解を促進する。 6 科目のうち、出身研究科の開講科目および国際開発研究科の開講科目各 1 科目を含む 3 科目以上を履修すること。国際開発研究科の学生は、他研究科科目を 1 科目以上履修すること。
基盤科目 (C) 選択必修科目群 (4 単位)	1) 「国際開発協力コース」 ^a 科目: 多民族社会論, 貧困と社会政策, 開発と社会文化変容, 農村経済学, 開発とビジネス, 内発的發展論, 教育開発政策論, 教育開発協力とパートナーシップ, 教育とウェルビーイング 2) 「国際社会文化コース」 ^b 科目: 社会心理学研究I, 社会・生涯教育研究 IV, 等 3) 「医療行政学コース」 ^c 科目: 臨床医学概論, 病理病態学 4) 「保健学コース」 ^c 科目: 生命倫理学, アジアのヘルスケアシステム概論, コンサルテーション論, 医療管理概論、 等共通科目 5) 「生命農学国際コース」科目 ^d : 酵素学特論 1, 栄養生化学特論, 生物分子工学特論, 森林環境学特論, 森林生物学特論, 森林社会学特論, 生物材料解析学特論, 等	M1 後期~M2 合計 4 単位	専門教育への導入を行いつつ、ウェルビーイング領域の研究の基盤となる幅広い開発リテラシーと学際的な視野を修得し、多文化社会アジアへの理解を探究する。 2 科目を履修すること。
演習 (4 単位)	ウェルビーイング演習I ウェルビーイング演習 II	M1, M2 各 2 単位	出身研究科の演習Iおよび演習IIを履修し、研究能力の向上を図る。
グローバルリーダー 特別講義 選択必修科目 (4 単位)	グローバルリーダー ^{1d} , グローバルリーダー ^{2d} グローバルリーダー ^{3d} , グローバルリーダー ^{4d} 体験型講義「リーダーシップ」	M1~M2 各 1 単位以上、 5 年間修了までに合計 4 単位	国際機関、JICA、民間企業でグローバルに活躍する女性リーダーによるゲスト講義シリーズ。グローバルリーダー1~4 の 2 科目以上を含む、3科目以上を履修すること。

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム

	体験型講義「チームビルディング」		
英語科目 (4 単位)	リサーチ・スキルズ A-1, A-2, B-1, B-2, B-3, B-4, C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-6, D-1 English Communication in Environmental Issues	M1~M2 各 2 単位 合計 4 単位	国際的な場で臆せず自分の考えを明確で効果的に伝え、専門的な論文を英語で書き、国際機関で働くために必要な英語能力を身につける。2 科目以上を履修すること。 なお、以下のものは、履修単位を免除する。 入講時 TOEFL iBT 85 点以上:4 単位
実践的科目 (選択必修科目) (7 単位)	海外実地研修 1 ^d , 海外実地研修 2 ^d , インターンシップ研修(option) ^d 海外研修演習 1 ^d 海外研修演習 2 ^d	M1~D3 M1~M2 で 4 単位以上、 修了までに 合計 7 単位	4 研究科 5 領域の学生混合グループによる学際的な合同海外研修で課題に取り組む。 研修事前準備に現地語学習を取り入れる。 「海外実地研修」履修前に「海外研修演習」の履修を必須とする。
博士論文研究 (6単位)	博士論文研究	D1~D3 合計 6 単位	博士論文研究の完成と学位取得のために、他研究科の教員を含む 3 名の教員の指導の下、研究指導体制が組まれる。

注：科目名の末尾は、講義を開講する研究科名を示す

a: 国際開発研究科、b:教育発達科学研究科、 c:医学系研究科、d:生命農学研究科